

# 機構営障害者校における県営障害者校の 訓練コース設置・運営に係るサポート

## 機構営障害者校における県営障害者校の訓練コース設置・運営に係るサポート

障害者校において、精神障害者や発達障害者等の職業訓練上特別な支援を要する障害者（特別支援障害者）の受入れや就職の促進が図れるよう、当該校のニーズ等を踏まえた特別支援障害者を専門に受入れる訓練コースの設置・運営をサポートする。（平成 24 年度試行的実施）

	東京障害者職業能力開発校	広島障害者職業能力開発校
当該校の計画	○精神障害者及び発達障害者を対象とした職業訓練科目（訓練職種は事務系と作業系）の新たな設置を検討中。	○平成 25 年度から専門の訓練科において、重度視覚障害者を受入れる予定。 ・訓練職種は P C 操作による事務。 ・訓練課程は短期課程（普通職業訓練）で、期間は 1 年間（1000 時間）
支援担当	国立職業リハビリテーションセンター （中央障害者職業能力開発校）	国立吉備高原職業リハビリテーションセンター （吉備高原障害者職業能力開発校）
OJT 方式による指導技法等の提供	○事前調整 中央校が東京校を訪問。訓練環境や指導技法等提供に係るニーズ等を把握し、中央校の訓練予定も踏まえて支援プログラムを調整。 ○支援プログラム 指導体験等の実践的な実務演習を中心に実施。（35 日間）  支援プログラムの実施結果を踏まえ、他に必要となる内容や再度確認を要する内容を中心に補完プログラムを実施。（5 日間）	○事前調整 吉備校が広島校を訪問。訓練環境や指導技法等提供に係るニーズ等を確認。 OJT 方式による指導技法等の提供を行う方向で支援プログラムを実施。
フォローアップ支援	受入開始に向けた準備状況の確認や訓練開始後に生じた課題の改善等を目的に、東京校のニーズに応じて、訪問等によるフォローアップを実施。	受入開始に向けた準備状況の確認や訓練開始後に生じた課題の改善等を目的に、広島校のニーズに応じて、訪問等によるフォローアップを実施。